

2 学期始業式

倉敷市立西中学校 松本一郎

放送で、皆さんの姿は見えませんが、いつものように、私の話を姿勢よく聞いてくれていると私には見えます。ありがとうございます。

今年の夏休みは、備南東地区大会で、幕を開けました。しかし、部活動によっては、大会開催を見送った競技もありますので、その分も開催できた部の人たちは頑張ってくれたと思います。

春先の分散登校や臨時休校により、学校での部活動も十分にはできなかったと思いますが、そのなかで、皆さんは、本当によく頑張りました。すべての競技の応援に行くことはできませんでしたが、皆さんのうれし涙を見ても、悔し涙を見ても、真剣に取り組んできた皆さんだからこそその輝きを見ることができました。この後、優秀な成績を残した皆さんの表彰がありますが、本当におめでとうございます。開催が危ぶまれたこの大会を開催するために、先生方をはじめ、多くの関係者の皆さんのご協力がありました。皆さんが抱いている感謝の気持ちは、皆さんを大きく成長させてくれると思います。

文化部においても、演劇部の公演に涙が止まらないほど感動しました。最後のあいさつで部長さんが、「西中の演劇部でみんなと出会った奇跡を胸に演じました。」といわれました。私の感動の理由は、すばらしい奇跡を見たからだ、そのとき思いました。

さて、今日から2学期が始まります。まだまだ、新型コロナウイルス感染症が猛威をふるっています。倉敷市にも感染者があり、いつだれが感染してもおかしくないと思います。私たちは、この猛暑が続くなか、熱中症にも気を付けながら、マスクや手洗い・ソーシャルディスタンス、検温など、新しい生活様式を意識しながら生活しなければなりません。それは、とても不自由でつらいものだと思います。

しかし、一番つらいのは、感染者やその家族、医療従事者等への悪口や差別・いやがらせだと思います。SNSによる感染者やその学校への誹謗中傷など、こころ優しい西中の皆さんには、そういうことは絶対ないと信じています。皆さんの優しさ、温かさ、正義感で、新型コロナウイルスの感染を防ぐことはできないかもしれませんが、悪口や差別・いやがらせは、100%防ぐことができるのではないのでしょうか。

2学期には、1学期にはできなかった学校行事が、いくつか計画されています。新型コロナウイルス感染症が、今後どのようになるか分かりませんが、皆さんの心に残る学校行事を実施したいと、感染症対策と行事の両立を考え工夫しているところです。生徒の皆さん、先生方、保護者の皆様で、一致団結して、この難局を乗り越えて、実り多い2学期にして行きましょう。